



平成27年10月30日

各 位

会 社 名 高砂鐵工株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 大植 啓一
 (コード：5458、東証第2部)
 問 合 せ 先 取締役経理部長 畑田 正樹
 (TEL. 03-5399-8111)

平成28年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成27年5月13日に公表しました平成28年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月13日に公表しました平成28年3月期通期の業績予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり四 半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	4,750	145	110	90	3.00
今 回 発 表 実 績 値 (B)	4,692	159	125	153	5.10
増 減 額 (B - A)	△58	14	15	63	—
増 減 率 (%)	△1.2	9.7	13.6	70.0	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	4,995	298	226	181	6.03

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	9,700	360	290	240	7.99
今 回 修 正 予 想 (B)	9,700	360	290	280	9.32
増 減 額 (B - A)	0	0	0	40	—
増 減 率 (%)	0.0	0.0	0.0	16.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	9,978	518	412	361	12.04

平成28年3月期第2四半期(累計)個別業績予想値と実績値との差異(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,900	125	90	80	2.66
今回発表実績値(B)	2,971	152	127	156	5.23
増減額(B-A)	71	27	37	76	—
増減率(%)	2.4	21.6	41.1	95.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	3,263	231	164	143	4.76

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,000	320	250	220	7.33
今回修正予想(B)	6,000	320	250	260	8.66
増減額(B-A)	0	0	0	40	—
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	18.2	—
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	6,401	438	344	324	10.79

差異及び修正の理由

(1) 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異

第2四半期累計期間の業績につきましては、ステンレスの輸出が順調に増加し円安も収益に貢献したため、自動車部品向けが中心のみがき帯鋼の伸び悩みや、子会社でのステンレス加工販売の市況低迷による苦戦をカバーし、営業・経常利益が前回発表予想を上回りました。加えて業績安定化により繰延税金資産を計上したため(親会社株主に帰属する)四半期純利益が上振れいたしました。

(2) 通期の業績予想の修正

通期業績予想につきましては、当社主力である自動車部品向けみがき帯鋼の受注回復状況について、自動車業界の生産・販売の動向を慎重に見極める必要があります。また、国内景気の回復状況、原材料及び製品価格の動向、中国経済減速の世界経済への影響、為替相場など先行きに不透明感が増しており、当社業績に影響を及ぼす不確定要因が存在しております。

そのため、現時点では連結業績・個別業績ともに売上高と営業・経常利益については据え置き、(親会社株主に帰属する)当期純利益について、上記の繰延税金資産の影響額を反映させ修正いたしました。

(業績予想に関する留意事項)

本資料における予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

以上